

英語 A (English V A)

担当教員名	松田 安隆	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 1単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(30%) E-2(50%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	グローバル化時代の技術者として必要な英語力をつけるために、英語の語彙力や読解力を向上させる。さまざまなジャンルの英文を読み、英語に関する興味を高める。	
テキスト(参考文献)	2-Step Reading 発展編, 工藤洋路, Chart Institute Steady Steps to Writing, 数研出版部, Chart Institute	
履修上の注意	前もって配布された課題を確実にやってから授業に出ること。 日々の自宅学習によって英語力の向上に努めること。⚠ 理由なき遅刻や欠席で受験できなかった小テストは0点扱いとする。	
科目の達成目標	(1)英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつける(学習教育目標 E-2)とともに必要な語彙力をつける。 (2) 付属テープを用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかる。(学習教育目標 E-2) (3)現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につける。(学習教育目標A-2・B-1)	
自己学習	英文雑誌およびインターネット等を通じて、継続的に異文化理解に有益な情報を収集し、英語の速読力の向上をはかる。 e-learningにより英語運用能力を向上させる。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	評価方法 (1)定期試験(70%) (2)随時実施される課題(e-Learningによる課題を含む)・小テスト・平常の発表等(30%) (1)定期試験: ・まとまった英文から必要な情報を速く的確に読み取ることができる。 ・伝えたいことを適切な英語で表現できる。 (2)小テスト ・基礎的な語彙を正しく使いこなせる。 (3)e-Learning ・期限までに、十分な分量の英文演習を行える。 この配分に基づく評価点が60点以上の者を合格とする	
連絡先	matsuda@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	Reading L1, Writing 時制 1 フィクション
第2週	Reading L2, Writing 時制 2 文明・歴史
第3週	Reading L3, Writing 時制 3 フィクション
第4週	Reading L4, Writing 助動詞 1 フィクション
第5週	Reading L5, Writing 助動詞 2 社会・メディア
第6週	Reading L6, Writing 条件・仮定 1 フィクション
第7週	Reading L7, Writing 条件・仮定 2 文明・歴史
第8週	中間試験実施 前半のまとめ
第9週	Reading L8, Writing 態 フィクション
第10週	Reading L9, Writing 不定詞・動名詞 1 文化・国際理解
第11週	Reading L10, Writing 不定詞・動名詞 2 ミステリー・推理
第12週	Reading L11, Writing 分詞 医療・健康
第13週	Reading L12, Writing 関係詞 1 ミステリー・推理
第14週	Reading L13, Writing 関係詞 2 社会・メディア
第15週	Reading L14, writing 比較 医療・健康
期末試験	